

かかりつけ薬局における

『入院予定患者 入院時薬剤 Pack』運用マニュアル

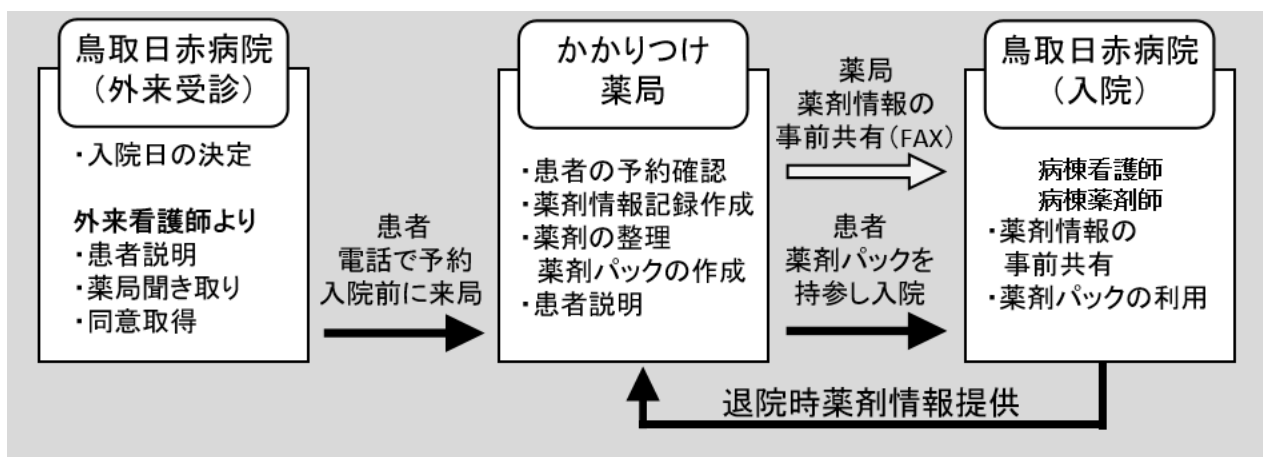
鳥取赤十字病院

【はじめに】

近年、患者の高齢化さらには病態の複雑化に伴い、患者の薬学的管理は益々重要視されつつある。そのため薬局薬剤師と病院は地域包括ケアシステムの下で何をすべきか考える必要がある。

地域において患者の薬物療法の安全性・有効性を向上させるためには、在宅で薬学的管理・指導をしている薬局薬剤師とのシームレスな連携は必須である。また、急性期病院では、限られた時間の中で入院前までの服薬情報を把握（情報収集）や持参薬管理（分包等）は非常に困難であり、在宅における服薬情報の一元的・継続的な把握を実施している薬局薬剤師の協力は必要不可欠である。今回、薬局薬剤師の専門部分である入院前の服用薬の情報や服用薬の整理業務を一任し、分業することで、多剤・重複投薬の防止や残薬解消なども可能となり、患者の薬物療法の安全性・有効性が向上するほか、医療費の適正化にもつながると考える。

1. 基本的な運用の流れ



2. 院内運用（外来での対応）

1) 入院が決定している患者に対し、外来看護師は下記の条件を確認する

- i 入院日が確定している
- ii 入院までに患者がかかりつけの薬局に行くことが可能
- iii 患者が薬局へ電話連絡で予約が可能
- iv 在宅で薬剤（外用、自己注射等を含む）を使用している

※対象患者について①多剤使用患者、②高齢者、③服薬状況に問題がある

①②③を総合的にみて判断する

2) 上記を満たす場合は別紙 1 を用いて下記の説明を行う。

①かかりつけ薬局の聞き取り

※かかりつけ薬局を決めていない患者は、かかりつけ薬局の決定も含め薬局を選定して頂く。

薬局の選定、仲介においては当院薬剤師が相談応需する。

②入院前に薬局へ行くことを説明する（同意取得）

※同意が得られなかった場合はお薬手帳、内服薬を入院当日に持参するよう説明して終了とする。

③患者自身が薬局へ電話連絡することを説明

④薬局へ持って行く物を説明する ※説明と同意取得後、別紙 1 は患者へ手渡す

3. かかりつけ薬局対応

1) 患者

現在使用している薬（他施設、他薬局の薬剤も含む）、お薬手帳をかかりつけ薬局へ持参し、病院 外来から受け取った書類（『入院予定患者さんへのお願い』：別紙 1）と共に薬局薬剤師へ手渡す。

2) 薬局

事前に電話連絡を受けた患者氏名、予約日時と患者が持参された『入院予定患者さんへのお願い』（別紙 1）の患者名が正しいことを確認し、下記の通り、入院予定患者薬剤情報提供書と入院時薬剤 Pack を作成し、入院時に持参するよう説明する。

※1 診療報酬（追加料金）等運用に対し、患者理解が得られない場合は行わなくて良い。

※2 患者の来局調整は入院日に応じて薬局と患者間で調整する。（入院日の 1 週間前を目安にする）また、連絡先が不明な場合は薬剤部へ問い合わせを行う。

4. 入院予定患者薬剤情報提供書の作成（かかりつけ薬局）

1) 依頼文書に従い、該当患者の基礎情報、在宅時における服用習慣、OTC、健康食品等の利用、術前中止薬について聴取し、各薬局作成の用紙もしくは『入院前の患者の服薬状況等に係る情報提供』：別紙 2-1 を作成する。

※『入院前の患者の服薬状況等に係る情報提供』：別紙-2 は鳥取県東部薬剤師会作成の様式である。

2) 使用する薬剤について医療機関、診療科毎に各薬局作成の用紙もしくは別紙 2-1 に記載をする。用紙に収まらない場合は複写し記載する。

3) 確認ができない箇所については『不明』と記載すること。

4) 別紙 2-1 については鳥取赤十字病院 薬剤部 HP に掲載されているため、Word シートを活用しても良い。

5) 各薬局作成の用紙もしくは別紙 2-1 を鳥取赤十字病院 薬剤部へ FAX 送信する。（複写を事後送信で良い）

5. 入院時薬剤 Pack の作成方法

1) 薬剤の整理について

①入院後使用予定日の 1 4 日分の薬剤（外用、インスリン等の自己注射も含む）を整理する

※日数が不足していても問題なし（別紙 2-2 に実際に持参する日数を記載する）

※各薬剤持ち込み日数をそろえること

②他施設、他薬局の薬剤に関して、依頼文書の内容に基づいて整理を行う

④下記 3 点を入院時薬剤 Pack [A4 サイズのチャック付き袋（各薬局で準備する、透明なもの）] にいれ、患者が入院時に管理しやすいよう、パッケージする。

- i 整理した薬剤
 - ii 各薬局作成の用紙もしくは入院前の患者の服薬状況等に係る情報提供（別紙 2-1）
 - iii 薬局が発行しているお薬情報提供用紙またはお薬手帳情報
- ⑤入院薬剤 Pack にはラベル（紙の貼付も可）別紙 3 参照を貼付すること
- ⑥入院時に上記入院時薬剤 Pack を持参することを説明する。
- ⑦薬剤 Pack 後に新たに追加された薬がある場合は、必ず入院時に持参するよう説明する。

2) 入院時薬剤 Pack の詳細

- ①各薬局で使用している薬袋、もしくはチャック付き袋に用法ラベルを貼付して、薬剤を用法毎、もしくは服用タイミング毎に分ける。
- ※1 薬袋の分け方は患者の管理状況（一包化、PTP管理など）に沿って検討する事。
- ※2 全事例にて一包化の必要はないが、必要と判断される場合は実施しても良い。
（特に複数医療機関の処方を一包化する場合は、退院後の服薬管理に影響する可能性があるため、患者の服薬状況などを考え慎重に判断すること。）
外来服薬支援料 2 の算定などは各薬局の判断とする。
- ※3 自施設で調剤時に使用している薬袋を再度印刷して、日数等を書き換えて使用してもかまわない。
- ②用法毎の薬袋や情報提供用紙等、全てを A4 サイズ（なければ別の大きさも可）の透明チャック付き袋にまとめる。

【内服薬】

患者の管理方法（一包化、PTP管理など）に合わせて用法毎、もしくは服用タイミングでまとめてパッケージする。

【頓服薬・外用剤・注射薬】

使用状況を確認し、使用がないものは持参薬からは除く
使用がある薬剤のみ用法ラベルを記載し、パッケージする

用法ラベル ※別紙 3 を参照

印刷して薬袋に貼るなどしてご使用ください。

入院薬剤 Pack イメージ

A 4 チャック付き袋



B6 チャック付き袋



B6 チャック付き袋



6. その他

- 1) 病院薬剤師は退院時に退院時薬剤管理サマリーを作成する。
- 2) 運用や薬剤に関する問い合わせについては下記に連絡し、確認を行う。
鳥取赤十字病院：平日勤務帯 0857-24-8111（薬剤部）

入院予定患者さんへのお願い

(兼持参薬情報提供書の依頼)

患者ID: ID

氏名: ○○様

記入日 YYYY年MM月DD日

診療科: ○科

◆ =入院予定日(1ページ目)

入院の予定となりました。

<入院(手術・検査等)される皆様へのお願い>

入院前に薬局へ行き、現在使用している薬を整理整頓してもらい、入院時に持参していただくこと、さらに入院される患者さんの薬の情報を事前に病院スタッフへ情報提供頂くことは、安心安全かつスムーズな入院へ繋がる重要なことと考えております。

つきましては入院時に持参頂くお薬について以下の通りご案内致します。

① かかりつけ薬局へ「病院から入院前のお薬の整理依頼」があったことを電話連絡して下さい。(※かかりつけ薬局とお薬を整理する日程調整をして下さい)

② かかりつけ薬局へ持参するもの

病院から手渡された書類

・入院予定患者さんへのお願い(本紙)

現在使用しているお薬全て(当院以外のお薬、インスリンや湿布、点眼薬なども含めて)

お薬手帳(現在使用している薬の内容がわかるもの全て)

③ 入院時には「整理されたお薬」と「お薬手帳」をお持ちください。

* ご不明な点があれば平日の15時以降に外来看護師までお問い合わせください。

* すべての薬を開業医から直接もらっている方は、この用紙は破棄してください。

保険薬局ご担当者様へのお願い

～入院時薬剤Pack作成と入院前薬剤情報提供作成について～

当院に入院予定の患者さまの、服薬整理(入院時薬剤Pack作成)と薬剤情報提供についてお願い致します。

入院時には下記3点を袋に入れて持参するようご指導ください。

薬局がまとめた薬剤 (※基本14日分で日数をそろえる。残数によっては14日分なくてもよい)

『入院予定患者薬剤情報提供書』

薬局が発行しているお薬情報提供用紙またはお薬手帳情報

※薬剤Pack後に新たに追加された薬がある場合は必ず入院時に持参して頂くことを説明して下さい

————— 保険薬ご担当者様へ —————

情報提供書はFax(薬剤部直通)で病院にお願いします。

【運用や薬剤に関する問い合わせ先】

鳥取赤十字病院 TEL 0857-24-8111 FAX 0857-24-5794(薬剤部直通)

《FAX 送信票》

送信先 鳥取赤十字病院 薬剤部

FAX : 0857-24-5794

FAX 全枚数 (本票を含む) _____ 枚

件名 【入院予定患者薬剤情報提供書】

送付元 薬局名 : _____ 薬局

いつもお世話になっております。鳥取赤十字病院へ入院予定患者の薬剤情報提供書を送信致しますのでご確認願います。

医師の指示による入院前中止薬	
自己調節している薬	

3 患者の服薬状況（アドヒアランス及び残薬等）

服薬管理者 (当てはまるものに「✓」)	<input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> 介助者 <input type="checkbox"/> その他()
服薬状況に関する留意点	
退院時の処方の際に お願いしたいこと	

4 併用薬剤等（要指導・一般用医薬品、医薬部外品、いわゆる健康食品を含む）の情報

--

5 その他

--

【記載上の注意】

- 1、保険医療機関への情報提供にあたっては、「1」、「2」及び「3」を記載したうえで、必要に応じて「4」または「5」により、患者の処方状況を報告すること。
- 2、服薬管理を行っている者について、当てはまる項目に「✓」をつけること。
- 3、必要に応じて、備考欄に受診・通院目的を記載すること。
- 4、必要に応じて、続紙に記載して添付すること。
- 5、必要に応じて、手帳、血液検査の結果の写しなどを添付すること。

薬局名： _____ 薬局

FAX : 0857-24-5794 (鳥取赤十字病院 薬剤部)

※入院前の患者の服薬状況等に係る情報提供 (Word)

➡鳥取赤十字病院 薬剤部 HP からダウンロード可能です

内服薬 ←

氏名： _____ 様 ←

用法： 1日 ___ 回 ←

朝・昼・夕 / 食前・食後 眠前 ←

その他： _____ ←

薬剤名	1回量	日数
_____	___錠	___日分 ←
_____	___錠	___日分 ←
_____	___錠	___日分 ←
_____	___錠	___日分 ←
_____	___錠	___日分 ←
_____	___錠	___日分 ←

備考： ←

←

頓服 ←

氏名： _____ 様 ←

用法： _____ ←

←

薬剤名	回数
_____	___回分 ←
_____	_____ ←
_____	_____ ←
_____	_____ ←
_____	_____ ←
備考： ←	_____ ←
_____	_____ ←
_____	_____ ←
_____	_____ ←
_____	_____ ←

外用薬 ←

氏名： _____ 様 ←

用法： _____ ←

←

薬剤名	持参数量
_____	_____ ←
_____	_____ ←
_____	_____ ←
_____	_____ ←
備考： ←	_____ ←
_____	_____ ←
_____	_____ ←
_____	_____ ←
_____	_____ ←

注射薬 ←

氏名： _____ 様 ←

用法： _____ ←

←

薬剤名	持参数量
_____	_____ ←
_____	_____ ←
_____	_____ ←
_____	_____ ←
備考： ←	_____ ←
_____	_____ ←
_____	_____ ←
_____	_____ ←
_____	_____ ←